

本調子

白雲節（しらくむぶし）

本調子

2/2

一、白雲ぬ如に見ゆるあぬ島に

※しらくむぬぐとうに

※みゆるあぬしまに

飛び渡ていみぶさ 羽ぬ有とうてい

※とうびわたていみぶしや

※はにぬあとーてい

羽ぬ有とうてい

※はにぬあとーてい

三、我が想る無蔵（里）や 白雲ぬ如に

※わがうむるんぞや

※しらくむぬぐとうに

見ゆるあぬ島ぬ なひんあがた

※みゆるあぬしまぬ

※なふいん、あがた

なひんあがた

※なふいん、あがた

五、例い渡海隔じやみ別りやい居ていん

※たとういとうけーふいじやみ

※わかりやいうていん

白雲に乗してい 思い知らさ

※しらくむにぬしてい

※うむいしらさ

思い知らさ

※うむいしらさ

二、飛び鳥ぬ如に 自由に飛ばりてれ

※とうびとういぬぐとうに

※じゆにとうばりてーれー

毎夜行じ行逢てい 語れすしが

※めーゆるんじいちやてい

※かたれーすしが

語れすしが

※かたれーすしが

四、我がや思み尽くす だきに思ゆしが

※わがやうみちくす

※だきに、うむゆしが

渡海ゆ隔じやみりば 自由ならん

※とうけゆふいじやみりば

※じゆねーならん

自由ならん

※じゆねーならん

六、一人淋々とう 見る白雲も

※ふいちゆいさびざびとう

※ながむみるくむん

無蔵（里）姿なとてい 忘りにき

※んぞしがたなとてい

※わしりかにさ

忘りにき

※わしりかにさ